

グリーンフィンガーズ

GREEN FINGERS

宝塚を彩る園芸の魅力

TAKE
FREE

美しいバラや「のうぜんかずら」、
新品種はこうして作られる！

SPECIAL Interview

有限会社 確実園本園 さま

園芸講座《第2回》

【美しいバラ苗はこう作る！】

宝塚おうち園芸 Instagram

VOL.2

発行／宝塚市役所農政課
(住所：宝塚市東洋町1-1 電話：0797-77-2036)
2021年12月発行

第2回

園芸講座

美しいバラ苗はこう作る！

Watch!

園芸店で販売されている苗木のバラ。

苗は、こうした接ぎ木の技術を生かして生産されています。

今回は、その現場でプロの技を見せていただきました。



用意するもの



接ぎ木道具

鋭利なナイフとよく切れるハサミなどを使います。



穂木と台木

土台となるノバラの根(右)と咲かせたいバラの茎(左)。



ノバラ

接ぎ木の仕方



① 根の部分は乾かさないうちにします。



② ノバラの芽の部分は切除し、根の上部分に切込みを入れます。



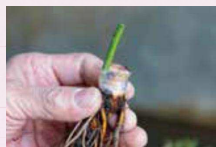
③ 茎の下部分の先端を斜めに切ります。



④ 根の上部分の切込みに茎を差し込みます(接ぎ木)。



⑤ ビニールテープまたはサージカルテープでしっかり巻きます。



⑥ 接ぎ木完成
これを鉢植え、または畑に植えて1年育ててから出荷します。

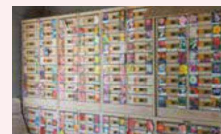
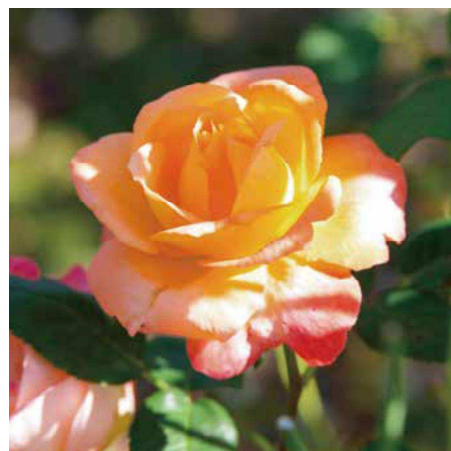
バラの育て方 一言アドバイス

苗を選ぶ時は、花色や咲き方で自分が好きなものを選ぶこと。四季咲きのバラは、春に花が終わった後は切り戻しておくと、初冬まで美しい花が楽しめます。水・肥料のやりすぎは禁物です。水は土の表面が乾いてから、肥料も少しずつ。愛情をかけて、ぜひお気に入りの花を楽しんでください。



確実園本園 前野 義博さん

大学農学部を卒業後、確実園本園に就職。以来バラの栽培一筋の達人。NHKみんなの趣味の園芸をはじめ各地で講習会の講師も務める。



バラの苗に付ける品種ラベル。

確実園本園 取締役社長
阪上 晃一さん

代々続く園芸の家からこの道に進んで50年余りどうやって新しい品種を作ろうと考える育種はやりがいがあります。今後はグリアもやってみたいと思っています。



育種の面白さに惹かれて
もともと祖父がガーベラの品種改良を手がけていたのを聞いていて、育種は面白そうだと私も始めました。最初に挑戦したのは、のうぜんかすら。ただこれは、種を蒔いてから花が咲くまでに5年。それも2月伸びた枝先に少し花が咲くだけ。これでは商品にならないので、

より美しい香るバラを、当園では扱う主力商品はバラで、

最大時約1000種類と多彩。さらに新品種の開発は、自然豊かな山本にある園場で行います。長年の経験と知識を生かして環境を作り、ハチなどの虫が花粉を運んで自然交配。いくつかに試して、よい花が出たら接ぎ木にかけます。育種は研究的な要素と感性、さらに自然に任せると思っています。

がいて感じますね。そうして生み出したうちの「マザ・エレガンス」は、越後丘陵公園(新潟)で行われる「国際香りのばら新品種コンクール2020年」ジュニア部門で、銀賞を受賞。これからは、美しい形や香りのバラを、皆さんに楽しんでもらえたいと思っています。

今回は種木のまちな山本で、バラなどの生産・卸を専門とし、接ぎ木の技術を生かして新品種の開発に精進を重ねる確実園本園の阪上さんにお話を伺いました。

美しいバラや「のうぜんかすら」、新品種はこうして作られる！



宝塚うち園芸

宝塚うち園芸Instagramで実施中の「#宝塚うち園芸」に投稿されたお写真をご紹介します！

takarazukaouchiengeli_contest



宝塚うち園芸の情報を発信しています。ぜひフォローしてください！

公式アカウント



TAKARAZUKAOUCHIENGELI_CONTEST

確実園本園

全国・海外でも評価の高いバラなどを生産

明治中期に創立の園芸生産・卸専門店。戦後以降はバラを中心に生産・卸販売を行い、現在も新品種の開発を続けています。取引先は北海道から九州まで全国に及びます。「のうぜんかすら」でも品種改良を行い、米・欧でも契約(登録)・販売されています。



DATE:
宝塚市山本東1-7-15
0797-88-0516

※生産・卸のため一般見学はできませんが、生産園は美しいパークで導入できます。また美しい園(パーク)主催の農場見学・買付けツアーを春・秋に開催。